

奥宮



ロープウェイから少し歩くと森に囲まれて奥宮があります。霧に包まれた境内は特に神秘的です。天候により雲海も見られますよ

寶玉稻荷神社
(たからごきいぬすじんじゃ)

失くし物をしたときにお参りするとでてくるとか

癒しの小道
木漏れ日が気持ちいい

本殿

左右の欄間にほどこされた彫刻には、8話の親孝行が描かれています

神社の伝説から火災盗難除け諸難除けの守護神としてご神徳が高い

社殿の後ろには出世を表す彫刻が描かれています

みそぎの泉

天満天神社

学問の神様はこちら

水神社

水の神をお祀りしたお宮です。御神水はこちらからお取りください

参拝の仕方

① 2回頭を深く下げる

90°

② 両手を合わせ右手を少し下にずらし 2回手を打つ 指先をそろえて祈りをこめる

二拝二拍二拝

車おはらい所

車のお祓いをする場所 日頃の交通安全を願って！

宝登山ロープウェイ

山頂まで5分の空中散歩ができます

社務所

ご祈願の受付はこちら 神社の総合案内所

玉泉寺

イラスト
こいしやうか

鯉や亀がいます



相生の松
(あいおいのまつ)

夫婦円満 良縁成就の想いを込めて...

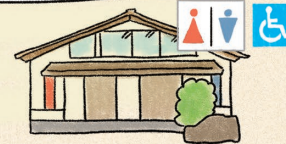
茶店

(有)新井武平商店

名物の「黄金だんご」はおすすり！もちもちな食感とお味噌の香りが食欲を誘います。



ハイキングはこちら (山頂まで徒歩50分)



ご祭神

神日本磐余彦尊【かんやまといわれひこのみこと】

我が国をおはじめになられた神武天皇。初代の天皇で、皇室の祖先にあたります。多くの困難を乗り越え、橿原の地に都を開きました。

大山祇神【おおやまづみのかみ】

山を司る神。人の生活に欠かすことのできない水や動植物など山の幸を無限に恵み給う神。神犬の大口真神（おおくちまがみ）を神使として我々を守って下さいます。

火産霊神【ほむすびのかみ】

火を司る神。火は侮れば災いを、尊べば福を授けます。燃え盛る炎が人の生活に必要な様々なものを生み出して下さいます。

お犬様

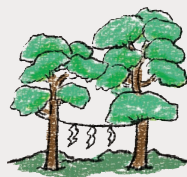
神様のお使いは動物に姿を借りて現れますが、これら神様のお使いを「眷属（けんぞく）」といい、代表的なものは稻荷神社のキツネ、八幡神社のハトなどがあります。当社のご眷属は日本武尊をお助けした山犬とされ、大口真神（おおくちまがみ）と呼ばれています。

お犬様（山犬）がお力を遺憾なく発揮していただけるよう、毎月7日の早朝、清らかな火で白飯を炊き、温かいお食事としてお供えをする「お炊き上げ祭」を行っています。

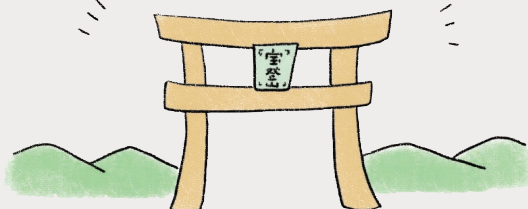
相生の松

昭和天皇のご成婚を奉祝し、大正13年（1924年）に植えた黒松・赤松で、町指定の天然記念物です。

仲睦まじく寄り添う樹の姿から、また松の葉は枝を離れるまで共に一緒であることから「相共に長寿を願い、より良き縁が得られますように」と願うえんむすび御守・相生の絵馬をお分かちしています。



CHICHIBU NAGATORO!



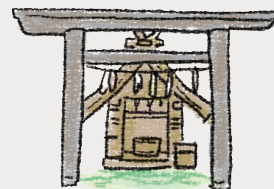
秩父 長瀬

宝登山神社

hodosan shrine

宝登山・奥宮

宝登山（497.1M）の山頂に祀られ、5月2日にはツツジが咲き競う中、奥宮祭が行われます。また、蠟梅園（見頃12月下旬～2月下旬）や小動物園があり、季節や天候の条件が揃うと眼下には雲海を見ることができます。山頂へは宝登山ロープウェイを利用するか徒歩で約50分。



ご由緒

1900年の昔、第12代景行天皇の皇子日本武尊が東国平定の折、この山の秀麗な姿に魅了され、ふもとの泉で禊（みそぎ）をし山頂を目指します。すると突然の山火事に進退が極った時、山犬たちが現れ瞬間に火を消し止め、尊一行を頂上まで案内すると山犬たちは姿を隠してしまいました。尊は山の神が御眷属の山犬を遣わし、自分たちを救ってくださったのだとお悟りになり、山頂に神籬を立て尊の祖先にあたる神武天皇・大山祇神（山の神）・火産霊神（火の神）を祀り、山の名を「火を止める山」と表し「火止山＝ほどさん」と定め宝登山神社の基としました。後世、ふもとの泉から宝珠が飛翔した神変から、「宝登山＝ほどさん」と改められました。ご神徳は火災盗難除け、諸難除けとして高く、多くの参詣者で賑わいます。

ご社殿

現在のご社殿は、江戸時代末～明治初頭に造り替えられ、本殿・幣殿・拝殿より成る権現造り（ごんげんづくり）です。欄間には、「二十四孝」や出世を意味する「登竜門」など多くの彫刻が施されています。



御鎮座1900年を奉祝し大改修を行い、鮮やかな美しさを取り戻し、外国のガイドブックにも紹介されています。

みそぎの泉

永久元年（1113年）空圓の開基と伝えられます。本尊は地藏菩薩で、真言宗智山派に属します。長く神仏習合の時代が続きましたが、明治初年、神仏分離の後は神社とともに今に至ります。

本殿の御垣内にあり、日本武尊が宝登山に登られる前に身を清めたと伝えられます。この泉は「玉の泉」とも称し、日照りの続く時や雨の降り続く時でも一定の水位を保ちながら湧いています。

玉泉寺



秩父 長瀬鎮座

宝登山神社
HODOSAN JINJA

秩父 長瀬鎮座 寶登山神社（宝登山神社）

〒369-1305 埼玉県秩父郡長瀬町長瀬 1828

TEL: 0494-66-0084 FAX: 0494-66-1860 www.hodosan-jinja.or.jp

宝登山神社公式SNSにて
情報公開中！



フェイスブック
公式アカウント



インスタグラム
公式アカウント

